第19回定期総会を開催　もしも介護保険のお世話になる時は？の講演

事務局長　小川　秀樹

東京シニアクラブは10月8日(火)、ＪＡＭ金属労働会館３階会議室にて恒例の学習講演会と第19回定期総会を開催した。

まずは午前10時30分から聴講者33名での講演会。お題は「もしも介護保険のお世話になる時は？」介護保険制度が始まって19年経ちましたが、その間幾多の改正があり分かりにくいとの声に応えるべく企画。講師は世田谷区議で介護支援専門員である中塚さちよ氏。実例も含めた具体的な講演は大変好評、数名の方から質問があり時間が超過する程でした。

　午後からはＪＡＭシニア大山会長、ＪＡＭ東京千葉森委員長、千葉シニア齋藤副会長、東京高退連高木副会長、田の上東京都議、来賓を含め総勢43名の出席の下、第19回定期総会を開催。活動・決算報告、新年度活動計画と予算、長寿表彰(１名・米寿)と２年間の役員改選が審議了承された。

役員改選は１名の交代で他は留任の計11名体制。新年度も現役の皆さんのご協力を得ながら会員拡大とともに、シニア会員の生き甲斐や交流促進を目指していきます。総会終了後のカンパ金２３３３６円を「台風15号による千葉災害見舞カンパ」としてＪＡＭ東京千葉に送付。総会後の懇親会は来賓も交えて話題が飛び交い盛り上がった。



